

令和 4年 4月 1日

笠岡市長 殿

所在地 笠岡市大島中1839-6

協議会名 大島まちづくり協議会

協議会長名 会長 浅野 ツヤ子

まちづくり計画策定状況： 策定済み 未策定令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 670,000 円

〔内訳〕

(単位：円)

活動No (優先順位)	活動名	インフラ上 限加算対象	申請額
1	”大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観		368,800
2	クラフト・竹細工・定置網見学体験ツアー		214,200
3	地域間交流促進事業		87,000
			0
			0
			0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書（様式第15号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書（様式第16号）
- (3) まちづくり計画（地域計画）などの計画書類（既に策定済みの地域のみ）
- (4) その他参考となる書類

様式第15号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	”大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	大島の文化財資源・観光資源を守り、後世に残してゆく。
【効果】	地域の人々の新しい発見と先人達の残した歴史を見つめなおすきっかけを提供する事ができ、特に未来を担う子ども達の郷土愛が育つことを期待する。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 (計画期間 3 年中 2 年目)

3 実施場所

大島全地域、大島海の見える家、大島公民館、NPO海の校舎大東小

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 200 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 50 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 150 人（イ）
 ○団 体： （団体名） 大島郷土史クラブ ， （団体名） 大島公民館
 （団体名） 大島青少年健全育成連絡協議会 ， （団体名） NPO法人海の校舎大東小

5 実施内容

「大島再発見」の写真展とギャラリートークの実施。（7～8月で2週間予定）
 写真展にはより多くの子も達に来てもらう為、公民館の協力のもと内容を考える。
 【展示予定3か所】会場①大島小学校、展示期間：7/12～14（個人懇談に合わせて保護者児童向け）、気に入った写真に投票してもらう／会場②大島中学校、展示期間：8/1～3（登校日にあわせて）／会場③旧大島東小、展示期間8/5～11（一般の方向け）
 ホームページ作成・QRコード作成。更に動画作成（ナレーション含む）の具体的な内容を決め、R5年度に完成させる。
 年度末までに内容の読み合わせ、チェックを皆で行い冊子を完成させる。

6 予算額

445,153 円（うち交付金分 368,800 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	”大島再発見”子どもたちに伝えたい大島の文化財と自然景観

【収入の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	368,800	当該年度分
	76,353	前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	445,153	

【支出の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	426,153	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	19,000	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	445,153	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
冊子作製	391,700	200部 (@1,780×200部×1.1)
消耗品	5,153	写真展A3厚紙・両面テープ等
〃 (A3写真用コピー用紙	10,000	@3360*3冊
〃 (写真展参加者用	11,700	25人/D*4日 (@110×25人×4日)
〃 (A4コピー用紙	5,100	@1700/箱*3箱
USB	2,500	@1250*2コ

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	426,153	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
ホームページビルダ-サービス	18,600	ホームページ用サーバーレンタル
計	19,000	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	クラフト・竹細工・定置網見学体験ツアー

1 目的、活動実施により期待される効果

目的	地域住民との交流を促進し、関係人口を増やす。
効果	地域の活性化が図られ地域力が上がる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 （計画期間 1 年中 1 年目）

3 実施場所

旧大島東小学校、えびすや、大島公民館、大島郵便局、大島海に見える家

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 500 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 172 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 328 人（イ）
 ○団 体： （団体名） 大島美の浜漁協 ， （団体名） NPO法人海の校舎大東小
 （団体名） 大島公民館 ， （団体名） 笠岡大島郵便局

5 実施内容

クラフトは現状のまま進める。竹細工はコロナ禍でも開催できる様よく話し合い実行に移す。漁協との話し合いを持ち、具体的な定置網見学方法を決め実行に移す。

6 予算額

356,000 円（うち交付金分 214,200 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	クラフト・竹細工・定置網見学体験ツアー

【収入の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	214,200	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	141,800	
クラフト教室授業料	105,600	@400*22人*12ヶ月
竹細工教室授業料	16,200	@300*9人*6ヶ月
定置網見学参加費	20,000	@2000*10人*1回
計	356,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	176,000	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	133,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	47,000	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	356,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
クラフト講師謝礼	144,000	@1000*3人*4回*12ヶ月
竹細工講師謝礼	24,000	@1000*2人*2回*6ヶ月
定置網見学会スタッフ謝礼	8,000	@2000*4人*1回
計	176,000	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
クラフトテープ	105,600	@400*22人*12ヶ月
接着剤	1,800	@900*2個
ニス	2,400	@1200*2個
消毒用品	1,300	アルコール消毒液・ウエットティッシュ等
紙コップ	1,000	@100*10袋
灯油	3,600	@1800*2
氷代	500	@500*1回
コーヒ-豆等	16,800	@700*2個*12ヶ月

《収支予算内訳書 2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	133,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
定置網見学費	20,000	@2000*10人*1回
レンタルスペース	26,400	@2200*12ヶ月
計	47,000	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	地域間交流促進事業

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	多世代間の交流の機会を増やす。
【効果】	交流人口の増加により地域活動の活性化につながる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 （計画期間 1 年中 1 年目）

3 実施場所

よっちゃれ会場、天王宮、八幡様、大島海に見える家

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 230 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わる人数： 30 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 200 人（イ）
 ○団 体： （団体名） , （団体名）
 （団体名） , （団体名）

5 実施内容

よっちゃれにひまわり連として参加する。
 大島まちづくり協議会として、天王宮の夏祭り、八幡様の秋祭りに出店し盛り上げる。

6 予算額

87,000 円（うち交付金分 87,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 大島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	地域間交流促進事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
市交付金	87,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	87,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	金額	摘要
報償費	0	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	67,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	5,000	〃
備品購入費	0	〃
参加費	15,000	〃
	0	〃
計	87,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
計	0	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
リストバンド	6,000	@30*200個
粘着・ビニールテープ	5,000	@200*10個、@300*10個
紙コップ・ゴミ袋等	3,000	紙コップ@100*25袋、ゴミ袋@100*5袋
パネル用板	3,000	@1000*3枚
バルーン（製作費含む）	20,000	
法被クリーニング	25,000	
飲料費	5,000	お茶@100*50人*1本

《収支予算内訳書2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	67,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
ポップコーン機械	3,000	前回実績並み
アイス容器	2,000	前回実績並み
計	5,000	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハン ディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

参加費

内 容	金 額	積 算
よっちやれ参加費	15,000	@300*50人
計	15,000	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。